

橋梁架設工事の積算 令和5年度版 正誤表

頁		訂正箇所		誤		正																																											
P3-190	架設桁架設工法 積算例	3. 6. 9		表 3 - 6 - 89 諸雑費率 (%)		表 3 - 6 - 89 諸雑費率 (%)																																											
P3-311			<table><tr><td>ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁</td><td>11</td></tr><tr><td>プレキャストセグメント桁</td><td>9</td></tr></table>	ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁	11	プレキャストセグメント桁	9	<table><tr><td>ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁</td><td>11</td></tr><tr><td>プレキャストセグメント桁</td><td>8</td></tr></table>	ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁	11	プレキャストセグメント桁	8																																					
ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁	11																																																
プレキャストセグメント桁	9																																																
ポ ス ト テ ン シ ョ ン 桁	11																																																
プレキャストセグメント桁	8																																																
P3-246	横組工(プレキャスト桁橋) 積算例	3. 6. 16		表 3 - 6 - 140 間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立歩掛 (1 t 当り)		表 3 - 6 - 140 間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立歩掛 (1 t 当り)																																											
P3-314 P3-315 P3-333			<table><tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th><th>編成人員 (人)</th></tr><tr><td>世 話 役 人</td><td></td><td></td><td>0.8</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td></td><td>3.8</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td></td><td>1.7</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td></td><td>5</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は、場内運搬を含む。 2. 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。	名 称		単 位	編成人員 (人)	世 話 役 人			0.8	鉄 筋 工	〃		3.8	普 通 作 業 員	〃		1.7	諸 雑 費 率	%		5	<table><tr><th colspan="2">名 称</th><th>単 位</th><th>編成人員 (人)</th></tr><tr><td>世 話 役 人</td><td></td><td></td><td>0.8</td></tr><tr><td>鉄 筋 工</td><td>〃</td><td></td><td>3.8</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td></td><td>1.7</td></tr><tr><td>諸 雑 費 率</td><td>%</td><td></td><td>4</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は、場内運搬を含む。 2. 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。	名 称		単 位	編成人員 (人)	世 話 役 人			0.8	鉄 筋 工	〃		3.8	普 通 作 業 員	〃		1.7	諸 雑 費 率	%		4					
名 称		単 位	編成人員 (人)																																														
世 話 役 人			0.8																																														
鉄 筋 工	〃		3.8																																														
普 通 作 業 員	〃		1.7																																														
諸 雑 費 率	%		5																																														
名 称		単 位	編成人員 (人)																																														
世 話 役 人			0.8																																														
鉄 筋 工	〃		3.8																																														
普 通 作 業 員	〃		1.7																																														
諸 雑 費 率	%		4																																														
P3-246	横組工(プレキャスト桁橋) 積算例	3. 6. 16		表 3 - 6 - 142 型枠、コンクリート工歩掛 (コンクリート10m³当り)		表 3 - 6 - 142 型枠、コンクリート工歩掛 (コンクリート10m³当り)																																											
P3-315 P3-316 P3-334			<table><tr><th rowspan="2">桁区分</th><th colspan="4">編成人員 (人)</th><th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th></tr><tr><th>橋りょう世話役</th><th>特殊作業員</th><th>型わく工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>プレテンションT桁、ポストテンション桁</td><td>2.9</td><td>4.0</td><td>9.3</td><td>9.1 (7.5)</td><td>9 (7)</td></tr><tr><td>ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁</td><td>1.6</td><td>1.7</td><td>2.5</td><td>3.9 (2.4)</td><td>10 (5)</td></tr></table> (注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m³当り1.5時間とする。 2. 本歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、または現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は90～100m³/hとする。 3. 配管打設の場合は、圧送管組立・撤去労務 (30m以下) を含むものとし、30mを超える場合は国土交通省土木工事標準積算基準書「第Ⅱ編第4章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は、打設高さ、15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は、40m³を標準とする。	桁区分	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1 (7.5)	9 (7)	ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁	1.6	1.7	2.5	3.9 (2.4)	10 (5)	<table><tr><th rowspan="2">桁区分</th><th colspan="4">編成人員 (人)</th><th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th></tr><tr><th>橋りょう世話役</th><th>特殊作業員</th><th>型わく工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td>プレテンションT桁、ポストテンション桁</td><td>2.9</td><td>4.0</td><td>9.3</td><td>9.1 (7.5)</td><td>8 (7)</td></tr><tr><td>ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁</td><td>1.6</td><td>1.7</td><td>2.5</td><td>3.9 (2.4)</td><td>10 (5)</td></tr></table> (注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m³当り1.5時間とする。 2. 本歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、または現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は90～100m³/hとする。 3. 配管打設の場合は、圧送管組立・撤去労務 (30m以下) を含むものとし、30mを超える場合は国土交通省土木工事標準積算基準書「第Ⅱ編第4章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は、打設高さ、15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は、40m³を標準とする。	桁区分	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員	プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1 (7.5)	8 (7)	ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁	1.6	1.7	2.5	3.9 (2.4)	10 (5)	
桁区分	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)																																												
	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																													
プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1 (7.5)	9 (7)																																												
ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁	1.6	1.7	2.5	3.9 (2.4)	10 (5)																																												
桁区分	編成人員 (人)				諸雑費率 (%)																																												
	橋りょう世話役	特殊作業員	型わく工	普通作業員																																													
プレテンションT桁、ポストテンション桁	2.9	4.0	9.3	9.1 (7.5)	8 (7)																																												
ブ レ テ ン シ ョ ン 床 版 桁	1.6	1.7	2.5	3.9 (2.4)	10 (5)																																												
P3-248	横組工(プレキャスト桁橋) 積算例	3. 6. 16		表 3 - 6 - 145 緊張工歩掛 (10ケーブル当り)		表 3 - 6 - 145 緊張工歩掛 (10ケーブル当り)																																											
P3-317 P3-318 P3-336 P3-337			<table><tr><th rowspan="2">種 類</th><th>規 格</th><th colspan="3">編成人員 (人)</th><th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th></tr><tr><th>PCケーブル</th><th>橋りょう世話役</th><th>橋りょう特殊工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="4">シングル ストランド システム</td><td>390kN (40t) 型 (1S17.8)</td><td rowspan="3">0.4</td><td rowspan="3">1.2</td><td rowspan="3">0.6</td><td rowspan="3">4</td></tr><tr><td>450kN (50t) 型 (1S19.3)</td></tr><tr><td>570kN (60t) 型 (1S21.8)</td></tr><tr><td>950kN (100t) 型 (1S28.6)</td><td>0.6</td><td>1.4</td><td>0.6</td><td>3</td></tr></table> (注) 1. 緊張は、片締めを標準とする。 2. 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 通常は主桁にグリッド筋が含まれている。現場施工で、グリッド筋を使用する場合はグリッド筋を別途計上する。	種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	PCケーブル	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	シングル ストランド システム	390kN (40t) 型 (1S17.8)	0.4	1.2	0.6	4	450kN (50t) 型 (1S19.3)	570kN (60t) 型 (1S21.8)	950kN (100t) 型 (1S28.6)	0.6	1.4	0.6	3	<table><tr><th rowspan="2">種 類</th><th>規 格</th><th colspan="3">編成人員 (人)</th><th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th></tr><tr><th>PCケーブル</th><th>橋りょう世話役</th><th>橋りょう特殊工</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="4">シングル ストランド システム</td><td>390kN (40t) 型 (1S17.8)</td><td rowspan="3">0.4</td><td rowspan="3">1.2</td><td rowspan="3">0.6</td><td rowspan="3">3</td></tr><tr><td>450kN (50t) 型 (1S19.3)</td></tr><tr><td>570kN (60t) 型 (1S21.8)</td></tr><tr><td>950kN (100t) 型 (1S28.6)</td><td>0.6</td><td>1.4</td><td>0.6</td><td>3</td></tr></table> (注) 1. 緊張は、片締めを標準とする。 2. 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 通常は主桁にグリッド筋が含まれている。現場施工で、グリッド筋を使用する場合はグリッド筋を別途計上する。	種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	PCケーブル	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員	シングル ストランド システム	390kN (40t) 型 (1S17.8)	0.4	1.2	0.6	3	450kN (50t) 型 (1S19.3)	570kN (60t) 型 (1S21.8)	950kN (100t) 型 (1S28.6)	0.6	1.4	0.6
種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)																																												
	PCケーブル	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																													
シングル ストランド システム	390kN (40t) 型 (1S17.8)	0.4	1.2	0.6	4																																												
	450kN (50t) 型 (1S19.3)																																																
	570kN (60t) 型 (1S21.8)																																																
	950kN (100t) 型 (1S28.6)	0.6	1.4	0.6	3																																												
種 類	規 格	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)																																												
	PCケーブル	橋りょう世話役	橋りょう特殊工	普通作業員																																													
シングル ストランド システム	390kN (40t) 型 (1S17.8)	0.4	1.2	0.6	3																																												
	450kN (50t) 型 (1S19.3)																																																
	570kN (60t) 型 (1S21.8)																																																
	950kN (100t) 型 (1S28.6)	0.6	1.4	0.6	3																																												

橋梁架設工事の積算 令和5年度版 正誤表

頁	訂正箇所	誤	正
P3-255 			

頁	訂正箇所	誤	正																																																																																												
P3-116	3. 6. 2 プレキャストセグメント主桁組立工	表 3－6－6 諸雑費率 諸雑費 諸雑費は、プレキャストセグメント組立工にかかわる材料費（接着剤、グラウト材（超低粘性型）、コンクリート（端部）、型枠用合板、はく離剤等）、機械器具費（表 6.1 の機械器具を除く雑機械（重量台車（引き出し用・調整用）、レバーブロック、軌条、グラウトポンプ、ウインチ、ワイヤロープ、グラウト流量計、水槽、真空ポンプ、発動発電機、空気圧縮機等））、消耗品費、電力に関わる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 雑機械（セグメント調整設備）にセグメント組立用軌道（1.23×桁長）、重量台車、油圧ジャッキ、レバーブロック、小器材等を含む。引出し軌道は別途計上する。 セグメント組立用軌道の設置撤去費用は別途計上する。 (%) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">3 分 割</th><th colspan="3">5 分 割</th><th colspan="3">7 分 割</th></tr><tr><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>65</td><td>71</td><td>82</td><td>76</td><td>71</td><td>87</td><td>84</td><td>80</td><td>97</td></tr></table> (注) PCコンボ桁（多径間）諸雑費率は架設桁による架設を行う場合にのみ適用出来る。 軌道の有無にかかわらず適用できる。		3 分 割			5 分 割			7 分 割			中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	諸雑費率	65	71	82	76	71	87	84	80	97	表 3－6－6 諸雑費率 諸雑費 諸雑費は、プレキャストセグメント組立工にかかわる材料費（接着剤、グラウト材（超低粘性型）、コンクリート（端部）、型枠用合板、はく離剤等）、機械器具費（表3-6-8の機械器具を除く雑機械（重量台車（引き出し用・調整用）、レバーブロック、軌条、グラウトポンプ、ウインチ、ワイヤロープ、グラウト流量計、水槽、真空ポンプ、発動発電機、空気圧縮機等））、消耗品費、電力に関わる経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 雑機械（セグメント調整設備）にセグメント組立用軌道（1.23×桁長）、重量台車、油圧ジャッキ、レバーブロック、小器材等を含む。引出し軌道は別途計上する。 セグメント組立用軌道の設置撤去費用は別途計上する。 (%) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="3">3 分 割</th><th colspan="3">5 分 割</th><th colspan="3">7 分 割</th></tr><tr><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th><th>中空桁</th><th>T 桁 少数桁 PCコンボ桁</th><th>PCコンボ桁 (多径間)</th></tr><tr><td>諸雑費率</td><td>65</td><td>71</td><td>82</td><td>76</td><td>71</td><td>87</td><td>84</td><td>80</td><td>97</td></tr></table> (注) PCコンボ桁（多径間）諸雑費率は架設桁による架設を行う場合にのみ適用出来る。 軌道の有無にかかわらず適用できる。 上記諸雑費率は架設桁・トラッククレーン併用架設工法にも適用できる。		3 分 割			5 分 割			7 分 割			中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	諸雑費率	65	71	82	76	71	87	84	80	97																																		
	3 分 割			5 分 割			7 分 割																																																																																								
	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)																																																																																						
諸雑費率	65	71	82	76	71	87	84	80	97																																																																																						
	3 分 割			5 分 割			7 分 割																																																																																								
	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)	中空桁	T 桁 少数桁 PCコンボ桁	PCコンボ桁 (多径間)																																																																																						
諸雑費率	65	71	82	76	71	87	84	80	97																																																																																						
P3-135	3. 6. 4 プレキャストセグメント主桁組立工	(14) 分割施工接続部グラウト材はつり処理工 分割施工接続部グラウト材はつり処理工は、 3. 6. 3 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工に準じ別途計上する。	(14) 分割施工接続部グラウト材はつり処理工 分割施工接続部グラウト材はつり処理工は、 3.6.3 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工に準じ別途計上する。 ※明朝体に修正																																																																																												
P3-168	3. 6. 8 PC橋片持架設工	表 3－6－69 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1 t 当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">縦 締</th><th colspan="2">横 締</th></tr><tr><th>1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)</th><th>2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)</th><th>570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)</th><th>950 k N (95t) 型 (1 S 28.6)</th></tr><tr><td>橋 り よ う 世 話 役</td><td>人</td><td>4.1</td><td>3.9</td><td>4.4</td><td>2.9</td></tr><tr><td>橋 り よ う 特 殊 工</td><td>〃</td><td>21.8</td><td>19.3</td><td>20.7</td><td>14.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>15.8</td><td>13.5</td><td>17.0</td><td>11.5</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>日</td><td colspan="4">0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">諸 雑 費 率</td><td rowspan="2">%</td><td>18</td><td>21</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>(30)</td><td>(30)</td><td>(42)</td><td>(38)</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料を標準とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シース、グラウト材（超低粘性型）、ビニールテープ、結束線及びシース柵筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. シースの材料は鋼製シースを標準とし、塩害対策等でポリエチレンシース等を用いる場合の諸雑費は（ ）内数値とする。 PCケーブル使用量 PCケーブル使用量は次式による。 使用量＝設計量×（1＋K） 表 3－6－70 ロス率（K） <table><tr><td>ロス率</td><td>+0.06</td></tr></table>	名 称	単 位	縦 締		横 締		1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)	2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)	570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)	950 k N (95t) 型 (1 S 28.6)	橋 り よ う 世 話 役	人	4.1	3.9	4.4	2.9	橋 り よ う 特 殊 工	〃	21.8	19.3	20.7	14.5	普 通 作 業 員	〃	15.8	13.5	17.0	11.5	ラフテレーンクレーン運転	日	0.6				諸 雑 費 率	%	18	21	15	15	(30)	(30)	(42)	(38)	ロス率	+0.06	表 3－6－69 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1 t 当り) <table><tr><th rowspan="2">名 称</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">縦 締</th><th colspan="2">横 締</th></tr><tr><th>1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)</th><th>2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)</th><th>570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)</th><th>950kN (95t) 型 (1 S 28.6)</th></tr><tr><td>橋 り よ う 世 話 役</td><td>人</td><td>4.1</td><td>3.9</td><td>4.4</td><td>2.9</td></tr><tr><td>橋 り よ う 特 殊 工</td><td>〃</td><td>21.8</td><td>19.3</td><td>20.7</td><td>14.5</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td>〃</td><td>15.8</td><td>13.5</td><td>17.0</td><td>11.5</td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>日</td><td colspan="4">0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">諸 雑 費 率</td><td rowspan="2">%</td><td>18</td><td>21</td><td>18</td><td>15</td></tr><tr><td>(30)</td><td>(30)</td><td>(42)</td><td>(38)</td></tr></table> (注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料を標準とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シース、グラウト材（超低粘性型）、ビニールテープ、結束線及びシース柵筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. シースの材料は鋼製シースを標準とし、塩害対策等でポリエチレンシース等を用いる場合の諸雑費は（ ）内数値とする。 PCケーブル使用量 PCケーブル使用量は次式による。 使用量＝設計量×（1＋K） 表 3－6－70 ロス率（K） <table><tr><td>ロス率</td><td>+0.06</td></tr></table>	名 称	単 位	縦 締		横 締		1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)	2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)	570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)	950kN (95t) 型 (1 S 28.6)	橋 り よ う 世 話 役	人	4.1	3.9	4.4	2.9	橋 り よ う 特 殊 工	〃	21.8	19.3	20.7	14.5	普 通 作 業 員	〃	15.8	13.5	17.0	11.5	ラフテレーンクレーン運転	日	0.6				諸 雑 費 率	%	18	21	18	15	(30)	(30)	(42)	(38)	ロス率	+0.06
名 称	単 位	縦 締			横 締																																																																																										
		1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)	2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)	570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)	950 k N (95t) 型 (1 S 28.6)																																																																																										
橋 り よ う 世 話 役	人	4.1	3.9	4.4	2.9																																																																																										
橋 り よ う 特 殊 工	〃	21.8	19.3	20.7	14.5																																																																																										
普 通 作 業 員	〃	15.8	13.5	17.0	11.5																																																																																										
ラフテレーンクレーン運転	日	0.6																																																																																													
諸 雑 費 率	%	18	21	15	15																																																																																										
		(30)	(30)	(42)	(38)																																																																																										
ロス率	+0.06																																																																																														
名 称	単 位	縦 締		横 締																																																																																											
		1900 k N (195 t) 型 2200 k N (225 t) 型 (12 S 12.4 A、12 S 12.7 B)	2900 k N (290 t) 型 (12 S 15.2 A) 3200 k N (320 t) 型 (12 S 15.2 B)	570 k N (60 t) 型 (1 S 21.8)	950kN (95t) 型 (1 S 28.6)																																																																																										
橋 り よ う 世 話 役	人	4.1	3.9	4.4	2.9																																																																																										
橋 り よ う 特 殊 工	〃	21.8	19.3	20.7	14.5																																																																																										
普 通 作 業 員	〃	15.8	13.5	17.0	11.5																																																																																										
ラフテレーンクレーン運転	日	0.6																																																																																													
諸 雑 費 率	%	18	21	18	15																																																																																										
		(30)	(30)	(42)	(38)																																																																																										
ロス率	+0.06																																																																																														

頁	訂正箇所	誤	正																																																																				
P3-178	3. 6. 8 PC橋片持架設工	④ タワークレーン運転費単価表 i) 商用電力を使用する場合 単価 3-42-4号表 タワークレーン運転費 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>電 力 料 金 タワークレーン運転工計</td><td>橋りょう特殊工</td><td>kwh 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 使用電力量は、下式による。 使用電力量＝タワークレーン原動機総出力 (kw) ×時間当り電力消費率 (0.305kwh/kw) × 1日当り運転時間 (6.9h) ×存置日数 (日) ×0.714 (稼働係数) ただし、存置日数は施工計画による。 2. タワークレーン運転工歩掛は、下式による。 タワークレーン運転工 (人) =0.15人／h × 6 h ×存置日数×0.714 (稼働係数) ii) 発動発電機を使用する場合 単価 3-42-5号表 タワークレーン運転費 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計</td><td>橋りょう特殊工</td><td>台・日 リットル 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 起動時負荷を機関出力の3倍として考慮した場合、発動発電機の規格は下記とする。 <table><tr><td>タワークレーン規格</td><td>発動発電機規格</td></tr><tr><td>100 t ・ m</td><td>200KVA</td></tr><tr><td>120 t ・ m</td><td>250KVA</td></tr></table> 2. 発動発電機を使用する場合の燃料使用量は下記とする。 燃料 (軽油) 使用量＝時間当たり燃料消費量 × 1日当り運転時間 (6.9h) ×存置日数×0.714 (稼働係数) ただし、存置日数は施工計画による。 3. タワークレーン運転工歩掛は、下式による。 タワークレーン運転工 (人) =0.15人／h × 6 h ×存置日数×0.714 (稼働係数) 4. 商用電力を使用する場合は、仮設電力設備費を別途計上する。	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	電 力 料 金 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	kwh 人					名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	台・日 リットル 人					タワークレーン規格	発動発電機規格	100 t ・ m	200KVA	120 t ・ m	250KVA	④ タワークレーン運転費単価表 i) 商用電力を使用する場合 単価 3-42-4号表 タワークレーン運転費 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>電 力 料 金 タワークレーン運転工計</td><td>橋りょう特殊工</td><td>kwh 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 使用電力量は、下式による。 使用電力量＝タワークレーン原動機総出力 (kw) ×時間当り電力消費率 (0.305kwh/kw) × 1日当り運転時間 (6.9h) ×存置日数 (日) ×0.714 (稼働係数) ただし、存置日数は施工計画による。 2. タワークレーン運転工歩掛は、下式による。 タワークレーン運転工 (人) =0.15人／h × 6 h ×存置日数×0.714 (稼働係数) 3. 商用電力を使用する場合は、仮設電力設備費を別途計上する。 ii) 発動発電機を使用する場合 単価 3-42-5号表 タワークレーン運転費 (1基当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>数 量</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計</td><td>橋りょう特殊工</td><td>台・日 リットル 人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. 起動時負荷を機関出力の3倍として考慮した場合、発動発電機の規格は下記とする。 <table><tr><td>タワークレーン規格</td><td>発動発電機規格</td></tr><tr><td>100 t ・ m</td><td>200KVA</td></tr><tr><td>120 t ・ m</td><td>250KVA</td></tr></table> 2. 発動発電機を使用する場合の燃料使用量は下記とする。 燃料 (軽油) 使用量＝時間当たり燃料消費量 × 1日当り運転時間 (6.9h) ×存置日数×0.714 (稼働係数) ただし、存置日数は施工計画による。 3. タワークレーン運転工歩掛は、下式による。 タワークレーン運転工 (人) =0.15人／h × 6 h ×存置日数×0.714 (稼働係数) 4. 商用電力を使用する場合は、仮設電力設備費を別途計上する。	名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	電 力 料 金 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	kwh 人					名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	台・日 リットル 人					タワークレーン規格	発動発電機規格	100 t ・ m	200KVA	120 t ・ m	250KVA
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																																	
電 力 料 金 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	kwh 人																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																																	
発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	台・日 リットル 人																																																																					
タワークレーン規格	発動発電機規格																																																																						
100 t ・ m	200KVA																																																																						
120 t ・ m	250KVA																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																																	
電 力 料 金 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	kwh 人																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																																	
発 動 発 電 機 賃 料 軽 油 タワークレーン運転工計	橋りょう特殊工	台・日 リットル 人																																																																					
タワークレーン規格	発動発電機規格																																																																						
100 t ・ m	200KVA																																																																						
120 t ・ m	250KVA																																																																						